

附表第三

史實調查參考資料報告

關東上陸地支局
昭和年月日

附表第三

關東上陸地支局

昭和年月日

日

史實調査参考資料報告

官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス

所屬部隊(固有名)

氏名

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

南大東島

官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略歴昭和十六年二月一日奉州第二一部隊入隊(歩兵第十五聯隊)
昭和十七年四月十日第十三團達子備隊轉屬、鹽河有
法師旅附、步兵三連隊、
昭和十九年七月三十日歩兵第
三十六聯隊一等兵、
南大東島附近、步兵三連隊

官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス所在部隊ノ編成
年月日及編制裝備ノ概要所在部隊ノ編成
年月日及編制裝備ノ概要

官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス昭和十九年十月一日敵機未襲三浦海軍部隊所有
25機銃十三挺借用陸軍步兵、沖繩作戰開始
後、四次、亘、艦砲射擊アリ、尚頻次、亘、艦砲射擊

官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス所屬部隊作戰經過
過ノ概要

官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス昭和十九年十月一日敵機未襲三浦海軍部隊所有
25機銃十三挺借用陸軍步兵、沖繩作戰開始
後、四次、亘、艦砲射擊アリ、尚頻次、亘、艦砲射擊

官

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス

備考

一

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

其ノ他ノ参考事項

一

歸郷(又ハ連絡)

先

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

史實調査参考資料報告

關東上陸地支局 昭和年月日

所屬部隊
(固有名)

步兵第三十六聯隊

職官

中隊附

陸軍中尉

終戰時ノモノヲ
記ス支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略歴昭和十六年二月一日瀋州第二一部隊入隊(歩兵第五十六聯隊)
昭和十七年四月十日第十三團境守備隊之轉屬 河北省
法難村附近、守備二任
昭和十九年六月二十日步兵第
三十六聯隊之轉屬 南大東島附近、守備二任

全右所在地

南大東島

氏名

蓬軍中尉

記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝備ノ概要一九六二八(於奇哈爾)
本部 一(人員約七〇)
步兵五隊 三(一九〇)(步兵四連、機槍、裝施小但し車も)
步兵砲隊 一(一七〇)(兩門 TA平西)

所屬部隊作戰經過ノ概要

通信中隊 一(八〇)(有線下無線下)

所屬部隊作戰經過ノ概要

昭和十九年十月十日敵機來襲、對海軍部隊所有、
25機銃ヲ十三銃借用、舷射裏、沖繩作戰開始

後、四次、百川艦砲射擊アリ、尚頻次、百川空襲

前記部隊以テ應戦。

終戰(又ハ主力
ノ戰闘終了)一、兵奉還
一、地上兵金、車輛、機器、中隊毎、往届ス

後ノ概況

一、現地自活、精進
一、保健作位、増進計
一、時局認識教育歸鄉(又ハ連絡)
先備考
其ノ他ノ参考事項

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

歸還輸送ノ狀況

ヲモ併記ス

以前ノ所屬部隊

ノ主ニシ尙ソノ

最後ノ所屬部隊

ノ分ヲモ概記ス

附表第三

史實調査参考資料報告

職官

年月日

記入

摘要

要

所屬部隊(固有名) 步兵第三十六聯隊 氏名 第三大隊本部附軍医

陸軍々医中尉

終戦時ノモノヲ
記入

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略

一、昭和十六年七月二十九日、
至昭和十七年八月二十五日、大連上陸

滿洲ハルビン附近、敵前備

職ノ變更及主ナ
ル參加戰鬪名ヲ

所在部隊ノ編成
年月日及編制表

一、昭和十九年七月十七日、南大東島、守備二佐ス

記入

備ノ概要
年月日及編制表

一、昭和十六年七月二十九日、
至昭和十七年八月二十五日、大連上陸

滿洲ハルビン附近、敵前備

所在部隊ノ編成
年月日及編制表

一、昭和十九年七月十七日、南大東島、守備二佐ス

記入

所屬部隊作戰經
過ノ概要

一、昭和十九年七月十九日十日十日、敵機來襲ニ對レ海軍部隊

以前ノ所屬部隊
ノ分ラモ概記入

所屬部隊作戰經
過ノ概要

一、昭和十九年七月十九日十日十日、敵機來襲ニ對レ海軍部隊

以前ノ所屬部隊
ノ分ラモ概記入

終戦(又ハ主力
ノ戰闘終了)
後ノ概況

一、兵糧庫還

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

備考
其ノ他ノ參考事
項

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和年月日

日

史實調査参考資料報告

所屬部隊
(固有名)

南大東島

氏名

中隊長大尉

終戰時ノモノヲ
記ス支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略

昭和十九年十一月一日歩兵群隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

職ノ變更及主ナ
ル參加戰鬪名ヲ
記ス

全右所在地

昭和十九年十一月一日步兵群隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス

歷

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

ノ主ニシ尙ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ概記ス所在部隊ノ編成
年月日及編制裝備ノ概要

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

所屬部隊作戰經過
過ノ概要

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月十日敵機木船二付ニ海軍部隊
所有ノ25ミリ機銃ヲ十三銃借用対空射撃
沖縄作戰用既後ハ四次亘り艦砲射撃アリ。
各頻次亘ル左襲ハ前記村左射出部隊ヲ

通信中隊一(一)一八〇(有線下無線小馬鹿)

本部一(人員約七〇)

步兵大隊三(一九〇)大隊四中一機中少佐級火薬

步兵大隊一(一)ニセツ(副中一中馬鹿)

終戰(又ハ主力
ノ戰鬪終了)
後ノ概況

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

歸鄉(又ハ連絡)
其ノ他ノ參考事項

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十一月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

昭和十九年十二月一日機銃隊即候犠生の命人の同日當年二十歳。

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

史實調査参考資料報告

所屬部隊 (固有名)	關東上陸地支局	昭和年月日	摘要要
歩兵第三十六聯隊	南大東島	中隊付少尉	終戦時ノモノヲ記ス
全右所在地	南大東島	氏名	ル参加戦闘名ヲ記ス
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和廿七年四月廿日、歩兵第四十五聯隊補充隊三現役兵トシテ入隊。 昭和十九年六月三十日、歩兵第三十六聯隊三輪屋同年七月十九日、沖縄本島大東島旅記ス。 昭和二十年八月三十日、任少尉。昭和二十一年十月十日、米軍に捕まリ沖縄本島ノ爲出發。	職官	職ノ變更及主ナ
所在部隊ノ編成	一九六一八（於者々喰爾）	備ノ概要	過ノ概要
年月日及編制裝備ノ概要	本部、步兵大隊三、九〇〇（大半、一機中、歩兵砲、但馬等） 歩兵大隊三、九〇〇（大半、一機中、歩兵砲、但馬等） 通信中隊一、八〇〇（有線、小手鎗等）	所在部隊作戰經過ノ概要	所屬部隊作戰經過ノ概要
年月日及編制裝備ノ概要	昭和十九年十月十日敵機來襲、射し、海軍部隊亦有ノ 通信中隊一、八〇〇（有線、小手鎗等）	最後ノ所屬部隊	最後ノ所屬部隊
年月日及編制裝備ノ概要	昭和十九年十月十日敵機來襲、射し、海軍部隊亦有ノ 通信中隊一、八〇〇（有線、小手鎗等）	以前ノ所屬部隊ノ分ノモ概記ス	以前ノ所屬部隊ノ主ニシ尙ソノ
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	歸還輸送ノ狀況	ノモ併記ス
其ノ他ノ参考事項	先		
終戦（又ハ主力ノ戰闘終了）	一九六一八退		
後ノ概況	六、七月合戦終了。中隊、小隊無往處久 三魂也自慘、猶追。 四保健作務増進ヲ許ル。 五賭局認識教育		

